

WRO 2008 YOKOHAMA JAPAN



大会会場



開会式



開会式

大会報告

11月1日(土)、横浜市のパシフィコ横浜 A ホールにて WRO2008が開催されました。

今年の大会は、アジアを中心に20の国と地域から約800名の児童・生徒が参加しました。

大会は、午前10時から開会式、11時00分からロボットの製作とテスト走行、午後1時30分から競技が開始されました。

小学生の部は「ベース・ランナー」という競技で、コース内を決められた順で走行し、途中のターゲットを落とすとポイントが加算されるという内容でした。中学生の部は、小学生の競技にプラスして走行するコースにトンネルやスロープなどが設置され、より難易度が高いものになっていました。

小学生の部に出場した「サンダーバード22号チーム」と「サンダーバード33号チーム」は、国内決勝大会後、よりスピードアップに取り組み練習に励んできましたが、本番では十分な力を発揮できませんでした。また中学校の部に出場した「サンダーバード55号チーム」もコース上の障害物にうまく対応できず残念な結果となりました。

今年の競技は、「不確実性」との戦いでした。

昨年までは、コースに引かれたラインや壁などを頼りに光センサーやタッチセンサーなどからの情報によってロボット制御することが可能でしたが、今年の競技では、コースの周囲の壁がなくコース上のラインの有無も大会当日の朝に発表されました。

また、選手たちは「同じロボットとプログラムでも外的要因で動作が異なる」ことなどの「原因」と「対策」に苦労しました。「不確実性」を受け入れ、その原因を考えて可能な限り手を打っておくということは、実社会では当然のことですが、理論が中心の学校教育では味わえない体験をしたことに十分な価値があると思います。

一方、展示と英語によるプレゼンテーションで競う『オープン・カテゴリー』では、中学生の部に出場した「サンダーバード66号」チームが5位に入賞し、参加選手が投票する人気投票でも「BSET POPULARITY」を受賞しました。

今年は「地球環境保護」をテーマとし、小、中、高あわせて60チームが参加しました。

「サンダーバード66号」は、化石燃料から自然エネルギーへの転換をはかることを目指す、風力発電システムと太陽光発電システムをレゴ・ブロックとマインドストームを使って表現しました。

今回は、日本での開催ということもあり多くのチームが国際大会に出場でき、選手もその独特な雰囲気を経験できたと思います。

大会会場では、一昨年 of 中国大会で知り合ったタイの小学校の先生との再会や昨年の台湾大会と一緒に写真撮影した香港チームのメンバーなど、うれしい再会もありました。

そして、もう一つうれしかったことが、昨年、一昨年の国際大会に出場したメンバーが中学生になって全員そろって再度、国際大会に出場できたことでした。

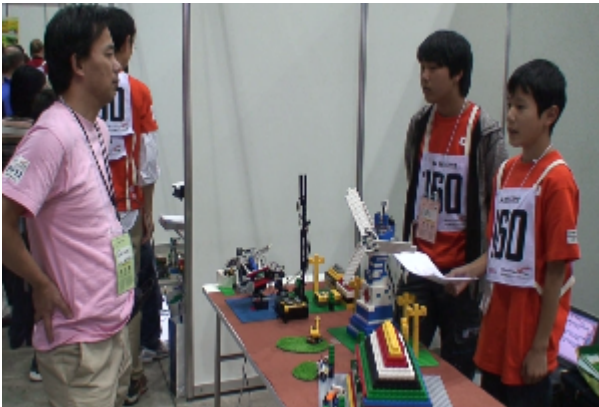
この経験を基にさらに努力を重ねていきたいと思いますので、引き続きのご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



小学生部門 国内決勝 1位、
2位、3位チーム(右から)



マレーシアチームと記念撮影



オープン・カテゴリー



サンダーバード66号チーム
「BSET POPULARITY」を受賞

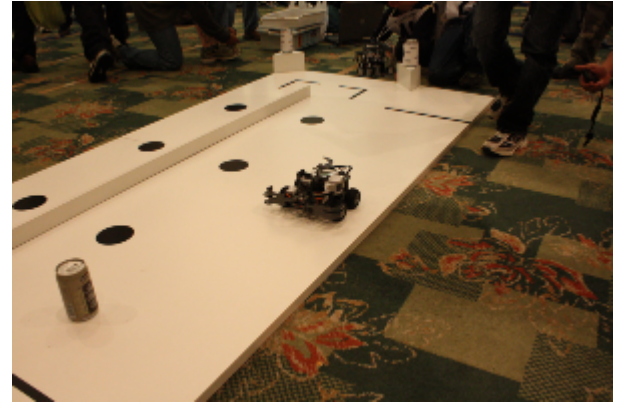


大会報告

サンダーバード・チーム



大会前日 練習会場



前日の最終調整



各国チームのロボット



試合前の試走



「ベース・ランナー」スタート